

よかところ通信

2010年8月残暑号

O2Farm【オーツーファーム】 大津耕太&愛梨

〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 587

Tel&Fax : 0967-62-3730

E-mail: o2farm@aso.ne.jp

O2FarmWeb : www.aso.ne.jp/reisi

残暑お見舞い申し上げます。今年の夏は暑いですね！みなさま夏バテなどせず元気にお過ごしでしょうか。さあ、いよいよ去年とれたお米をお届けするのはこれで最後。来月には新米をお送りできる予定です。O2ファームでは、今月もたくさんの出来事がありました。



まずは稲の様子から。稲穂の頭が垂れてきたのは、無事に受粉をした証拠です。あとは太陽の力を借りてどんどんデンプンをためこみ、甘いお米に熟してくれるのを祈るばかり。稲刈りまであと3週間をきりました。が、されど3週間。これからの心配は、1.日照不足 2.台風 3.スズメやイノシシ。それとは別に、稲そっくりの雑草・ヒエが種を落とす前に取らなければいけません。見れば見るほどそっくりのイネとヒエ。1本でも残っていると、来年がたいへん！写真は、お米の「花」が咲いているところです。

次に牛のお話。我が家で育ったあか牛を1頭、解体しました！子供を虐待する母牛がいるからセリに出そうかと思う、と励志おじから聞いたのは2ヶ月ほど前のこと。口蹄疫が大きな問題に発展したこういう時だからこそ、阿蘇の草原でのびのびと育った健康なあか牛をぜひ出荷してみたい、という思いは強くなるばかり。そこで、それを解体して肉にすることに決めました。数ヶ月前から、イベントに食材を提供してほしいという打診を受けていたことも、私の背中を押してくれました。



屠畜場には猛暑を避けた夕暮れ時にトラックで搬送。次に来る時は肉になっているかと思うと、さすがに複雑な気分でした。3日後。



皮を剥いで真っ二つに割られた巨大な肉の塊が引き渡されました。そのお肉のカットをしてくれたのは、南ドイツで食肉マイスターの資格をとった好青年。マイスターと言えば国家試験に通った「職人」のことです。どんな技を見せてくれるのかな？

男性4人がかりでやっと持ち上がるほどの塊を意外なほど小さな包丁で手際よくさばっていくマイスター。その様子を皆で見学させてもらい、とても勉強になりました。その晩はさっそくバーベキュー。普段は野菜の割合が多い食事ですが、この日ばかりはステーキで豪華に。下関から遊びにきていた友人家族らと一緒にかぶりつきました。肉の味がしっかりしていて、極上！これぞ農家の醍醐味、ってやつですね。





それから1週間後。福岡のホテルで開かれたディナーイベントに生産者として呼ばれました。「5人のシェフと生産者の出会い」というイベントで、チケットは即日で完売するほど人気があるのだそうです。生産者として参加したのは、野菜、果樹、養鶏、米、塩の生産者、そしてO2ファーム。生産者が提供した厳選食材をフランス料理のシェフたちが最高の料理に仕立ててくれました。女性客が多かったため、3人息子たちは大人気。あか牛のPRに一役かってくれました。

あか牛の話題ですいぶん長くなってしまいましたが、最後にもう一つ夏休みらしいニュースを。我が家のお米を買っていただいているお客様から、「息子を送り込んでもいいでしょうか」という申し出があり、「本人も希望していること」を条件に二つ返事で承諾。東京から高校生が1週間の研修にやってきました。田舎暮らしが楽しみ！とにこやかにやってきた彼。農作業も子守りも張り切って取り組んでくれて、すっかり家族の一員に。私たちが昼休みをしている間に自転車で水源へ行ったり、子供たちに得意の虫捕りや釣りを教えてくれたり、阿蘇山上へ日帰り旅行したり、と課外活動(?)もたくさん。南阿蘇ライフを満喫してくれた様子で、私たちも安心しました。単なる生産者とお客様、という関係を越え、こんな風に息子さんを送り込んで頂けるのは本当に幸せなことです。多感な年頃の男の子が農村の自然に触れていきいきと動き回り、親元を離れたところで胸に秘めた熱い想いを語る様子を見るのは、本当に微笑ましく、そして刺激的でした。



ビニールハウスの中でやりたい作業もあるのですが、曇りの日でもまるでサウナ。1時間も続けることはできません。たださえ暑いのに、最近やけに甘えん坊になってきた三男坊はべったりくっついてきて、なかなか思うようにはかどりません。

お盆には20名を超える親戚が集合。東京で育った私にとって田舎のお盆はとても新鮮でしたが、今ではすっかり恒例行事。にぎやかに過ごしました。お盆を過ぎれば秋風が吹き始める阿蘇。残暑が厳しい地域にお住まいの方はぜひ避暑にいらしてくださいね。来月に無事とれたての新米をお届けできるよう、気を抜かずに最後まで頑張ります。どうぞお元気で過ごしてください。

<お知らせ>

新年度の9月からも、従来通りお送りさせていただきますが、もしご変更がある場合はご一報下さい。不定期もしくは年に数回ご購入頂いているお客様におかれましては、目安でけっこうですのでご予約をお願い致します。在庫に限りがありますので、ご予約頂いた分を優先して確保致します。他にも疑問点やお問い合わせ等ありましたらお気軽にご連絡ください。稲刈りシーズンは家の電話になかなか出られませんので、留守電にメッセージを頂くか、メール、ファックス、お急ぎの場合は携帯電話(えり:090-7926-6895)まで、よろしくお願い致します。